

『健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学』  
第3版第1刷 内容補足・訂正表

本書の一部内容につきまして、以下の通り補足・訂正いたします。  
表につきましては、誠にお手数ですが切り取り線内の表を該当箇所にお貼り込みください。

頁	行, 箇所	訂正前	訂正後・追記
37	↓ 2 行目	2015 年版	2020 年版
62	↑ 6 行目	持続投与方	持続投与法
64	↓ 9 行目	2015 年版	2020 年版
69	学習目標の 上部に追記	—	(診療報酬の記述に関しては、2018 年 12 月現在の ものである)
97	↓ 9 行目	栄養治療計, 栄養教育計画	栄養治療計画, 栄養教育計画
102	↑ 8 行目	四つの領域からなる 71 項目が設定されている.	四つの領域から各栄養診断コード・用語が設定 されている.
117	↓ 7 行目	2015 年版	2020 年版
122	↓ 6 行目	ビタミン含量の	ビタミン含有量の
127	↑ 1 行目	100 m <sup>2</sup>	100 cm <sup>2</sup>
134	↓ 9 行目	1) 適正なエネルギー摂取量を設定する	1) 総エネルギー摂取量設定の目安
	↓ 14~18 行目	エネルギー摂取量(kcal) = 標準体重(kg) × 身体活動量(kcal/kg 標準体重)* <標準体重の求め方> 標準体重(kg) = 身長(m) × 身長(m) × 22	<目標体重の目安> 総死亡が最も低い BMI は年齢によって異なり, 一定の幅があることを考慮し, 以下の式から算 出する. 65 歳未満: 身長(m) × 身長(m) × 22 65 歳以上: 身長(m) × 身長(m) × 22~25 75 歳以上の後期高齢者では, 現体重に基づき, フレイル, ADL 低下, 併発症, 体組成, 身長 の短縮, 摂食状況や代謝状態の評価を踏まえ, 適 宜判断する.
	↑ 20 行目	<身体活動量の目安> 軽労作(デスクワークが多い職業など): 25 ~ 30 kcal/kg 標準体重 中労作(立ち仕事が多い職業など): 30 ~ 35 kcal/kg 標準体重 重労作(力仕事が多い職業など): 35 ~ kcal/kg 標準体重	<身体活動レベルとエネルギー係数(kcal/kg)> 軽労作(デスクワークが多い職業など): 25 ~ 30 kcal/kg 中労作(立ち仕事が多い職業など): 30 ~ 35 kcal/kg 重労作(力仕事が多い職業など): 35 ~ kcal/kg
	↑ 6 行目	2015 年版	2020 年版
	↑ 5 行目	20 g/日以上	21 g/日以上
135	↓ 3 行目	2015 年版	2020 年版
	↓ 3 行目	男性は 8 g/日未満, 女性は 7 g/日未満	男性は 7.5 g/日未満, 女性は 6.5 g/日未満
	↓ 18 行目	調味量	調味料
139	表 13-6, 1 行 5 列	IIab 型高β	IIb 型高β
141	↑ 1~2 行目	2016(平成 28)年度	2018(平成 30)年度
	↑ 1 行目	脂質エネルギー比率 27.1%	脂質エネルギー比率 28.1%
167	↓ 18 行目	エネルギー比率 25~30%	エネルギー比率 20~30%
168	↑ 6 行目	慢性疲労の蓄積, 睡眠不足, 心理社会的ストレ ス	慢性疲労の蓄積, 心理社会的ストレス
171	↓ 3~4 行目	慢性便秘診療ガイドライン 2017	慢性便秘症診療ガイドライン 2017

頁	行, 箇所	訂正前	訂正後・追記
171	↓ 5 行目	対外に排出	体外に排出
172	↓ 4 行目	①大腸通過正常型	①硬便による排泄困難
174	↓ 6～7 行目	～よるものである。原因を特定できない C 型急性肝炎は,	～よるものであるが, 残り半数は原因を特定できない。C 型急性肝炎は,
175	↓ 14 行目	①急性肝炎および慢性肝炎における治療は,	①急性肝炎における治療は,
179	↑ 3 行目	肝炎ウイルス感染感染	肝炎ウイルス感染
183	↓ 10 行目	膀胱機能低の低下を生じる	膀胱機能の低下を生じる
191	↓ 4 行目	高 HDL-C 血症	高 LDL-C 血症
196	↓ 4 行目	心症発作時には	狭心症発作時には
202	↑ 3 行目	栄養摂取経路	栄養補給経路
205	↓ 7 行目	腎炎の	腎臓の
207	↑ 5 行目	巣状分性糸球体硬化症	巣状分節性糸球体硬化症
212	↓ 15 行目	標準体重/日程度し,	標準体重/日程度とし,
213	↑ 4 行目	eGFR	GFR
219	↑ 5 行目	ステージ G3	ステージ G3a
	↑ 5 行目	ステージ G4～G5	ステージ G3B, G4～G5
223	↓ 9 行目	ERS	EPS
	↑ 5～6 行目	皮下脂肪減少し	皮下脂肪減少により
228	↓ 7 行目	透析への流出	透析液への流出
235	↑ 9 行目	2015 年版	2020 年版
238	↓ 5 行目	2015 年版	2020 年版
246	↓ 11 行目	2015 年版	2020 年版
249	↑ 12～13 行目	④高たんぱく質食は～制限を解除する。	削除
269	表 21-1	別紙 A に差し替え	
283	↑ 5 行目	2015 年版	2020 年度
296	図 23-7.b	乳製品の量	小麦製品の量
349	表 28-3	Lv.1 : 嚥下訓を行っていない。	Lv.1 : 嚥下訓練を行っていない。
366	表 29-1	別紙 B に差し替え	
	表 29-2	別紙 C に差し替え	
	↓ 2 行目	2015 年版	2020 年度
367	表 29-3	出典の更新(日本人の食事摂取基準 2015 → 2020)	
	↓ 5 行目	2015 年版	2020 年度
384	表 30-10	別紙 D に差し替え	
388	表 31-2	別紙 E に差し替え	
389	↓ 14 行目	2015 年版	2020 年度
	↓ 15 行目	糖質は 50～60% とされている	糖質は 50～65% とされている
406	↓ 1 行目, 3 行目	高齢症候群	老年症候群
410	図 32-1	出典の更新(日本人の食事摂取基準 2015 → 2020)	
416	↓ 5～6 行目	日本神経学会(監), 「パーキンソン病治療ガイドライン」作成委員会(編): パーキンソン病治療ガイドライン 2011, 医学書院, 2011	日本神経学会(監), 「パーキンソン病診療ガイドライン」作成委員会(編): パーキンソン病診療ガイドライン 2018, 医学書院, 2018

A

表 21-1 日本人の食事摂取基準(2020年版)

## ・鉄の食事摂取基準(mg/日)

性 別	男 性				女 性					
	推定 平均 必要量	推奨量	目安量	耐容 上限量	月経なし		月経あり		目安量	耐容 上限量
					推定 平均 必要量	推奨量	推定 平均 必要量	推奨量		
0～5(月)	—	—	0.5	—	—	—	—	—	0.5	—
6～11(月)	3.5	5.0	—	—	3.5	4.5	—	—	—	—
1～2(歳)	3.0	4.5	—	25	3.0	4.5	—	—	—	20
3～5(歳)	4.0	5.5	—	25	4.0	5.5	—	—	—	25
6～7(歳)	5.0	5.5	—	30	4.5	5.5	—	—	—	30
8～9(歳)	6.0	7.0	—	35	6.0	7.5	—	—	—	35
10～11(歳)	7.0	8.5	—	35	7.0	8.5	10.0	12.0	—	35
12～14(歳)	8.0	10.0	—	40	7.0	8.5	10.0	12.0	—	40
15～17(歳)	8.0	10.0	—	50	5.5	7.0	8.5	10.5	—	40
18～29(歳)	6.5	7.5	—	50	5.5	6.5	8.5	10.5	—	40
30～49(歳)	6.5	7.5	—	50	5.5	6.5	9.0	10.5	—	40
50～64(歳)	6.5	7.5	—	50	5.5	6.5	9.0	11.0	—	40
65～74(歳)	6.0	7.5	—	50	5.0	6.0	—	—	—	40
75以上(歳)	6.0	7.0	—	50	5.0	6.0	—	—	—	40
妊婦(付加量)										
初期					+2.0	+2.5	—	—	—	—
中期・後期					+8.0	+9.5	—	—	—	—
授乳婦(付加量)					+2.0	+2.5	—	—	—	—

B

表 29-1 参照体重における基礎代謝量

性 別	男 性			女 性		
	基礎代謝基準値 (kcal/kg 体重/日)	参照体重 (kg)	基礎代謝量 (kcal/日)	基礎代謝基準値 (kcal/kg 体重/日)	参照体重 (kg)	基礎代謝量 (kcal/日)
1～2	61.0	11.5	700	59.7	11.0	660
3～5	54.8	16.5	900	52.2	16.1	840
6～7	44.3	22.2	980	41.9	21.9	920
8～9	40.8	28.0	1,140	38.3	27.4	1,050
10～11	37.4	35.6	1,330	34.8	36.3	1,260
12～14	31.0	49.0	1,520	29.6	47.5	1,410
15～17	27.0	59.7	1,610	25.3	51.9	1,310
18～29	23.7	64.5	1,530	22.1	50.3	1,110
30～49	22.5	68.1	1,530	21.9	53.0	1,160
50～64	21.8	68.0	1,480	20.7	53.8	1,110
65～74	21.6	65.0	1,400	20.7	52.1	1,080
75以上	21.5	59.6	1,280	20.7	48.8	1,010

[厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書<<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000586553.pdf>>(最終アクセス 2020年7月)より引用]

C

表 29-2 年齢階級別にみた身体活動レベルの群分け(男女共通)

身体活動レベル	I (低い)	II (ふつう)	III (高い)
1～2(歳)	—	1.35	—
3～5(歳)	—	1.45	—
6～7(歳)	1.35	1.55	1.75
8～9(歳)	1.40	1.60	1.80
10～11(歳)	1.45	1.65	1.85
12～14(歳)	1.50	1.70	1.90
15～17(歳)	1.55	1.75	1.95
18～29(歳)	1.50	1.75	2.00
30～49(歳)	1.50	1.75	2.00
50～64(歳)	1.50	1.75	2.00
64～74(歳)	1.45	1.70	1.95
75以上(歳)	1.40	1.65	—

[厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書〈<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000586553.pdf>〉(最終アクセス 2020年7月)より引用]

D

表 30-10 ナトリウムの食事摂取基準{mg/日, ( )は食塩相当量[g/日]}\*

性別	男性			女性		
	推定平均 必要量	目安量	目標量	推定平均 必要量	目安量	目標量
0～5(月)	—	100(0.3)	—	—	100(0.3)	—
6～11(月)	—	600(1.5)	—	—	600(1.5)	—
1～2(歳)	—	—	(3.0未滿)	—	—	(3.5未滿)
3～5(歳)	—	—	(3.5未滿)	—	—	(3.5未滿)
6～7(歳)	—	—	(4.5未滿)	—	—	(4.5未滿)
8～9(歳)	—	—	(5.0未滿)	—	—	(5.0未滿)
10～11(歳)	—	—	(6.0未滿)	—	—	(6.0未滿)
12～14(歳)	—	—	(7.0未滿)	—	—	(6.5未滿)
15～17(歳)	—	—	(7.5未滿)	—	—	(6.5未滿)
18～29(歳)	600(1.5)	—	(7.5未滿)	600(1.5)	—	(6.5未滿)
30～49(歳)	600(1.5)	—	(7.5未滿)	600(1.5)	—	(6.5未滿)
50～64(歳)	600(1.5)	—	(7.5未滿)	600(1.5)	—	(6.5未滿)
65～74(歳)	600(1.5)	—	(7.5未滿)	600(1.5)	—	(6.5未滿)
75以上(歳)	600(1.5)	—	(7.5未滿)	600(1.5)	—	(6.5未滿)
妊婦				600(1.5)	—	(6.5未滿)
授乳婦				600(1.5)	—	(6.5未滿)

\* 高血圧および慢性腎臓病(CKD)の重症化予防のための食塩相当量の量は、男女とも6.0g/日未滿とした。

[厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書〈<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000586553.pdf>〉(最終アクセス 2020年7月)より引用]

表 31-2 妊娠期・授乳期の食事摂取基準(抜粋)

栄養素		18～29歳(女性)	30～49歳(女性)	妊婦(付加量)	授乳婦(付加量)
エネルギー(kcal/日) <sup>1)</sup>	推定 必要量	2,000	2,050	初期+ 50 中期+250 後期+450	+350
たんぱく質(g/日)	推奨量	50	50	初期+ 0 中期+ 5 後期+ 25	+ 20
脂肪エネルギー比率(%)	目標量	20～30	20～30	—	—
炭水化物エネルギー比率(%)	目標量	50～65	50～65	—	—
食物繊維(g/日)	目標量	18以上	18以上	—	—
ビタミンA(μgRE/日)	推奨量	650	700	初期+ 0 中期+ 0 後期+ 80	+450
	耐容 上限量 <sup>2)</sup>	2,700	2,700	—	—
ビタミンB <sub>1</sub> (mg/日)	推奨量	1.1	1.1	+ 0.2	+ 0.2
葉酸(μg/日)	推奨量	240	240	+240	+100
ビタミンC(mg/日)	推奨量	100	100	+ 10	+ 45
食塩相当量(g/日)	目標量	6.5未満	6.5未満	—	—
カルシウム(mg/日)	推奨量	650	650	—	—
マグネシウム(mg/日)	推奨量	270	290	+ 40	—
鉄(mg/日)月経なし (月経あり)	推奨量	6.5(10.5)	6.5(10.5)	初期+ 2.5 中期・後期+9.5	+ 2.5

1) 身体活動レベルIIの場合。

2) プロビタミンAカロテノイドを含まない。

[厚生労働省：「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書(https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000586553.pdf)(最終アクセス2020年7月)より引用]

2020年8月30日

株式会社 南江堂